



2016年10月 会報 厚木ワイズメンズクラブ 第145号

主 題 川口クラブ会長 楽しかったと言える1年を！
 湘南・沖縄部部长 あなたが退会しない理由は？
 東日本区理事 明日に向かって、今日はたらこう
 アジア会長 ワイズ運動を尊重しよう
 国際会長 私たちの未来は今日

今月の聖句(強調月間 EMC/M)

僅かなことにもまじめに真心を尽す者は、大きなことを任せても頼りになるし、僅かなことだからどうでも
 いいとごまかす者は、大きなことを任せてもろくなことをしない。

山浦 訳 ルカの伝えたよきたより 16章10節

8月例会報告

卓話 熊本地震復興支援報告

小林一郎前厚木YMCA館長



小林前館長が阿蘇
 YMCAの災害ボラ
 ンティアセンターに
 5月10日から2月
 間ボランティアコー
 デイナーとして

ご活躍の体験をお話いただきました。



阿蘇YMCA 研修、宿泊用施設

熊本地震は断層のずれによる断層型地震でした。
 阿蘇市、南阿蘇村とくに黒川地区はひどい被害をう
 けました。地割れがひどく田植えもできない状態
 でした。南阿蘇立野地域、阿蘇大橋は崩壊し、国道5
 7号線は通行止めでした。直下型地震はぐらぐらと

やってくるのではなく、ドンという音響とともに下
 から突き上げてき、屋根からは瓦が落ち、家屋は半
 壊もしくは全壊となり、人々はビニールハウスや自
 家用車で寝泊まりしていた。

阿蘇市内のボランティアニーズの調査から始めま
 した。活動をはじめるにあたってはまず「私たちY
 MCAにできることがありますか~ボランティアで
 す。」とビラを配布しておく。個々のお家に伺うと、
 私のところは大きなことがないから、だれだれさん
 の家についてみてくださいと言われてました。それは
 東日本の時と全く同じ被災者の返事で、日本人の隣
 のことをまず考える習性といったようなものを感じ
 ました。この地域では30戸~60戸ごとに区長さん
 がいて、日ごろから住民の要望などを引き受け、
 住民の被害状況もよく把握しておられ、ここへ伺う
 と詳しくボランティアニーズの情報が得られました。
 さらに5年前に当地に水害があり、YMCAのボラ
 ンティア活動を経験していて、街とも信頼関係がで
 きており、活動がスムーズにできました。

活動開始、被災地を訪問する時、ゼッケンをつけ
 ることが必須で、着けていないと泥棒と間違えられ
 警察に通報されたりしてました。

当初は瓦礫の処理がボランティアのニーズの最多
 な作業で暑いなか異臭に悩まされながらの作業は本
 当にご苦労なものだった。特に屋根の瓦の撤去は保
 険の対象外の危険な作業で、YMCAと深いかわ

例会データ	10月	在籍会員	20人
会 員	16人	メイキャッツプ済み	
ビジター	1人	出席率	
ゲ ス ト	1人		
合 計	18人	80%	

りのある山の会のボランティアにリーダーになってもらって行った。

田植えをまじかに控え灌漑水路の修復、田植えといずれもかなりの重労働で、とくに断層で亀裂の入ったところは、埋めても埋めても水が漏れ、断層の亀裂の大きさに改めて驚いた。



益城町総合運動公園体育館

帰任する頃には、被害者のニーズも心のケア移りつつあり、益城町の熊本YMC Aが指定管理者として運営する益城町総合体育館で見られるように心のケアプログラムも瓦礫の撤去作業と平行して行われ始めていました。（小林 秀）

お話を伺って、私は最近発売されたプレストウィッツ著「日本復活」の一部をここに記載しました。著者は1980年代日本との貿易交渉で米国側のタフなネゴシエーターとして活躍した人です。

「東日本大震災と原発事故はすさまじい破壊の爪痕を福島に残しました。だが、世界がなによりも感銘を受けたのは被災した日本人の尊厳ある行動であった。最悪の地震災害や津波、そして原発のメルトダウンという未曾有の危機的事態に置かれながら、被災地や事故現場周辺にいた人々は整然と秩序を保ちながら行動したことだ。米国やフィリッピンで同じような災害が発生すれば、当たり前のように略奪や暴動が起こる。だが日本では、そんな場面は見られなかった。ごく普通の人々が見せた忍耐や秩序ある行動、苦難に立ち向かう不屈の精神、そして迅速な救援活動に世界は驚いた。これこそ、最も優れた日本だ。日本人は自力で切り抜けなければならない局面になると、自然に結束し最も効率的かつ迅速に、そして可能な限り秩序だった方法で目的を達成する。怒鳴りあったり、言い争ったりなどしないのだ。しかし・・・」（田口）

澤内さんのバッ地理ニュース

いつもの通り、食事時間を利用して澤内さんのバッ

地理ニュースが行われました。

リオのオリンピック閉会式での小池知事の和服のクリーニング代は？とか先週の一歩の人気商品のお話などのほか地理の名に背かぬ世界の話など楽しく映しだしていただきました。

福祉の広場、

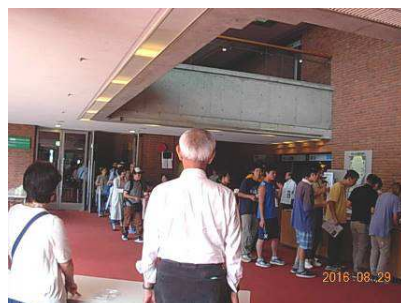
“みる”コンサート物語 in あつぎ 8月29日

2009年以来行われてきた厚木市の福祉関係の組織が一丸となって実行してきた“みるコンサート”。

台風もようの不安な天気にもかかわらず入場者数

1004人、全国

を巡回する「見るコンサート」の全国合計での入場者数は本日の盛会で20万人をオーバーしました



た。準備万端は厚木YMC A浅沼さんの指揮のもと円滑に行われ、来場の子供、障害者の方々からは盛大な拍手を頂き、大盛況でした。クラブからは川口会長以下7人ボランティアとして参加、協力しました。

10月事業予定

10月15日 横浜YMC Aチャリティラン

10月26日 厚木クラブ例会

10月30日 市民・在留外人との交流会

会費振込先変更のお知らせ

郵便局

振込先 厚木ワイズメンズクラブ

記号 10950

番号 25564061

長い間の懸案だった郵便局に口座を開設することが森田会計さんの猛暑のなか何度も郵便局に足を運ぶご苦勞のおかげでできました。今回はクラブの印鑑を作らねばならぬところから私どもの知るところとなりましたが、人知れない皆様のご苦勞、ご努力が積み重なってクラブの礎石の大事な一つになっていることを思い、クラブの誇りに思うと同時に心から感謝いたしております。（田口）